

ご来場の皆さま、本日は東北大学交響楽団第 161 回定期演奏会にお越しくださり誠にありがとうございます。

また、まもなく 2 年と 9 か月が過ぎようとしておりますが、未だ爪痕を残している東日本大震災からの復興、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

この度の演奏会では昨年の第 158 回定期演奏会ぶりにハープの中村由美子先生とご共演をさせていただきました。指揮は当団副指揮者であります高橋信雄先生に依頼し、ビゼー「カルメン」、スメタナわが祖国より「高い城」、メンデルスゾーン「スコットランド」とそれぞれの作曲家の作品の中でも屈指の名曲が揃う聴き応えのあるプログラムとなります。誰もが一度は聞いたことのあるこれらの名曲を中村先生の素晴らしいハープの響きと共演できますこと、情熱あふれる高橋先生の指揮で皆さまにおとどけできますことを団員共々、胸を躍らせながら精進してまいりました。

当団は職業演奏家の集団ではございません。そのため、技術的に未熟に感じられることもあるかと存じます。しかし、プロでないからこそプロ以上に音楽への熱い情熱、作品一つひとつへの深い想いをもって演奏いたします。そのなかで皆さまと音楽の素晴らしさや奥深さ、感動のひとときを共有できましたら、私どもにとってこれほど喜ばしいことはございません。

最後になりますが、当団との共演を快諾していただきました中村由美子先生、指揮の高橋信雄先生、日頃から指揮を振りご指導賜りました先生方、トレーナーの先生方に厚く御礼申し上げます。特に当団音楽顧問の菊地健夫先生には、音楽的なご指導はもちろん、運営面も演奏会の企画段階から本日に至るまでたいへんご助力いただきました。重ねて御礼申し上げます。

それでは皆さまごゆっくりこのひとときをお楽しみください。<769 字>